

# BUSINESS REPORT

## 第84期 報告書

2013.4.1 ▶ 2014.3.31

市光工業株式会社



a Light, a Life  
**ICHIKOH**

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

**UD  
FONT** 見やすく読みまちがえ  
にくいユニバーサル  
デザインフォント  
を採用しています。



# ICHIKOH



当連結会計年度におけるわが国経済は、上期は日銀の金融緩和の影響などから緩やかな回復傾向を示し、下期には消費増税前の駆け込み需要などの要因も比較的堅調に推移しました。世界経済においては、米国は緩やかな景気拡大傾向が継続し、欧州も債務危機から持ち直しの傾向が見られたものの、中国では成長率が減速してきており、アセアンなどの新興国では成長に陰りも見られる状況となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内自動車生産台数は、上期はエコカー補助金効果の剥落などにより減少したものの、下期は消費増税前の駆け込み需要などが旺盛であり、通期では増加となりました。アセアンでは、自動車生産台数は、インドネシアとマレーシアは増加となりましたが、タイでは政情不安の影響などが自動車生産にも影響し、減少となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、利益確保を最優先にグループ一丸となって、一層の経費低減に加え、あらゆる合理化に取り組んでまいりましたが、当連結会計年度における売上高は88,698百万円（前期比4.2%増）、営業利益は339百万円（前期比55.6%減）、経常利益は1,162百万円（前期比43.4%減）となりました。また、不動産売却に伴う損益や当社子会社の保険代理店事業の譲渡益等を特別損益に計上し、当期純利益は714百万円（前期比49.0%減）となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、内部留保の蓄積により、安定配当を実施する目処がたちましたことから、当期末分より剰余金の配当を再開することとし、1株当たり1円50銭とさせていただきます。

当社グループは、仏ヴァレオ社との事業連携により、グローバルマーケットでのシェア獲得、売上規模の拡大、専門メーカーとしてお客様のニーズを先取りした製品開発力の強化、品質保証の徹底に努め、企業価値のより一層の向上を図ってまいります。

また、内部統制システムを確立することを通じて、財務報告の信頼性の確保、リスク管理体制の構築ならびに運用

を図ることにより、当社グループの業務に携わる全ての関係者のコンプライアンス意識を向上させることに努め、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

なお、平成25年度よりコンプライアンス・CSR委員会を設置するなど、管理方策や研修・教育体制の整備・強化に取り組んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 オードバディアリ ORDOOBADI Ali

### 連結業績ハイライト

売上高	88,698百万円
営業利益	339百万円
経常利益	1,162百万円
当期純利益	714百万円
<b>配当</b>	
期末配当	1円50銭

### 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内においては、デフレ脱却を企図した金融政策による景気浮揚策や企業の景況感が継続的な改善をみせる一方で、消費増税前の駆け込み需要の反動減も予想されることから、国内自動車生産台数は減少傾向で推移するものと見込まれます。世界経済においては、アジアを中心とした新興国の成長にも陰りが出てきており、特に、タイでは政情不安が継続していることや中国経済の減速などの影響もあり、引き続き不透明な状況が続くものと思われれます。

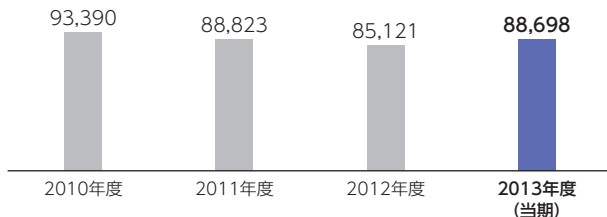
当社グループはこのような環境の下、引き続き固定費の抑制、合理化活動に努めることで、グローバル競争に勝ち残るべく、生産効率の向上による収益改善活動を行なってまいります。このほか、品質・信頼性向上を目指すと共に、マーケットシェア拡大や高付加価値製品による売上の確保により、グループ全体でさらなる成長を目指し、業務遂行に努めてまいります。

平成27年3月期の業績予想につきましては、売上高は89,700百万円、営業利益は1,600百万円、経常利益は2,500百万円、当期純利益は1,700百万円を見込んでおります。

## 連結財務の推移

### 売上高

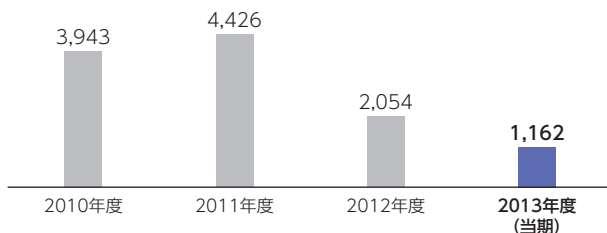
(単位：百万円)



(注) 当連結会計年度より、従来営業外収益に計上していた「ロイヤリティー」および「開発費及び技術支援料」について、「売上高」に含めて計上する変更を行なったため、2010年度から2012年度については遡及処理後の数値を記載しております。

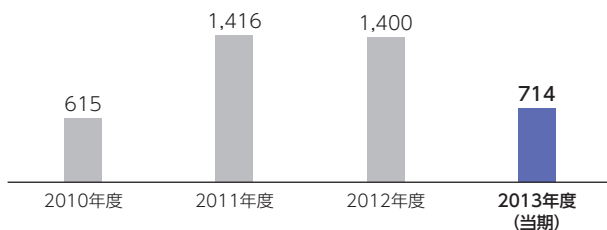
### 経常利益

(単位：百万円)



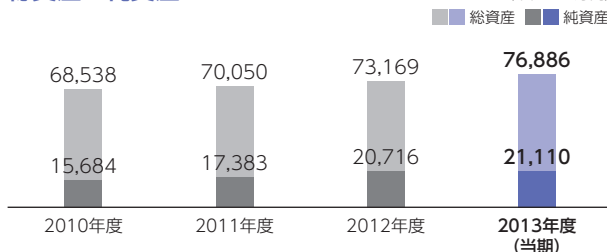
### 当期純利益

(単位：百万円)



### 総資産・純資産

(単位：百万円)

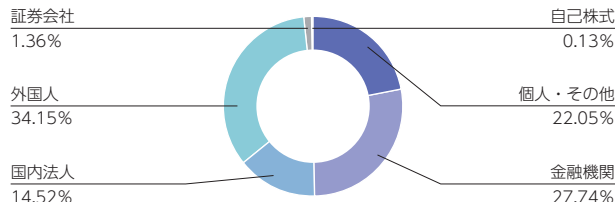


## 株式の状況 (2014年3月31日現在)

### 株式の総数および資本金

資本金	8,929,538,428円
発行済株式の総数	96,036,851株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	7,243名

### 所有者別分布状況 (株式数)

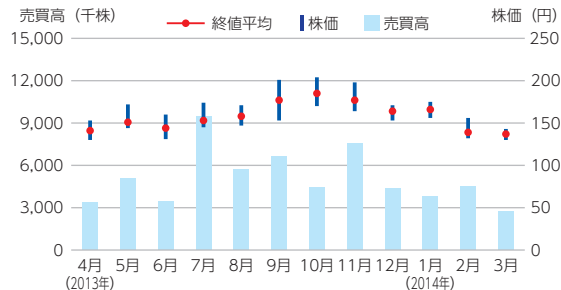


### 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	30,339千株	31.63%
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.12
株式会社みずほ銀行	4,775	4.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,688	3.84
日本生命保険相互会社	3,503	3.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,061	3.19
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,344	2.44
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,314	1.37

(注) 1. 持株比率は自己株式 (132,454株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。  
2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。  
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,061千株であります。

### 株価および株式売買高の推移



## (要約) 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2014年3月31日	前連結会計年度 2013年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	38,044	36,710
固定資産	38,842	36,459
有形固定資産	25,522	25,453
無形固定資産	930	903
投資その他の資産	12,389	10,102
資産合計	76,886	73,169
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,448	29,857
固定負債	27,327	22,595
負債合計	55,776	52,452
<b>純資産の部</b>		
株主資本	19,105	18,391
その他の包括利益累計額	△445	△62
少数株主持分	2,450	2,387
純資産合計	21,110	20,716
負債及び純資産合計	76,886	73,169

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	前連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
売上高	88,698	85,121
売上原価	75,511	71,800
売上総利益	13,186	13,321
販売費及び一般管理費	12,847	12,558
営業利益	339	763
営業外収益	1,603	2,022
営業外費用	779	731
経常利益	1,162	2,054
特別利益	812	1,764
特別損失	395	1,675
税金等調整前当期純利益	1,579	2,143
法人税等	748	614
少数株主損益調整前当期純利益	831	1,529
少数株主利益	117	128
当期純利益	714	1,400

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 当連結会計年度より、従来営業外収益に計上していた「ロイヤリティ」および「開発費及び技術支援料」について、「売上高」に含めて計上する変更を行なったため、前連結会計年度については遡及処理後の数値を記載しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	前連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,634	5,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	△6,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,134	△2,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	609
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,071	△2,619
現金及び現金同等物の期首残高	12,368	14,988
現金及び現金同等物の期末残高	11,297	12,368

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 話題のリニア中央新幹線の前照灯、ICHIKOHが供給！

2013年8月29日、東京と愛知・名古屋を40分で結ぶ、リニア中央新幹線の詳細なルートが発表されました。リニア中央新幹線の山梨実験線で500km/hでの試験走行を公開し話題となった新型車両「L0系」には、ICHIKOHのオートモーティブアフターマーケット部が供給するHIDプロジェクターユニットが搭載されています。この前照灯は、東北新幹線「こまち」や、JR湘南新宿ラインの車両で実績のあるユニットを応用したものです。時速500km/hを超える車両では、前照灯は車両が近づく事を周囲に知らせる“前部標識灯”としての役割も果たします。このため、視認性に優れたHIDプロジェクターユニットが、これまでの搭載実績を評価され導入されました。今後、「L0系」は試験運行を繰り返し、車両や施設の耐久性能を確認します。自動車用ランプで培われたICHIKOHの技術、品質が最先端の高速鉄道に活かされた事例となりました。



リニア中央新幹線



HIDプロジェクターユニットが搭載された前照灯

### 環境保全への貢献が評価

#### ICHIKOHが初の神奈川県知事表彰を受賞

2013年11月11日、神奈川県庁本庁舎大会議場において、ICHIKOHが環境保全に貢献し、特に功労があった企業として、神奈川県知事から県知事表彰を受賞しました。

今回の受賞は、神奈川県環境保全協議会から推薦され、県の選考を経て決定したものです。今年度は、県内で20社がエントリーした中で5社が受賞となり、ICHIKOHとしては初の快挙となりました。

選考にあたっては、ボイラー燃料の重油からプロパンガスへの変更による大気汚染防止対策をはじめ、産業廃棄物として排出していたシュレッダー紙を、再利用として伊勢原市農政課を通じ家畜の敷きワラとして提供していること、また、塗料使用量の低減による揮発性有機化合物への対策や、重油の地下タンクを全て廃止し、土壌汚染対策に積極的に取り組んでいることなど幅広い活動が高く評価されました。

ICHIKOHは今後も地域の環境保全活動に積極的に参画していきます。



ガスボイラー



シュレッダー紙を敷きワラとして再利用

## 会社概要 (2014年3月31日現在)

商号 市光工業株式会社  
設立 1939 (昭和14) 年12月20日  
資本金 8,929,538,428円  
使用人数 連結 3,366 (879) 名  
単体 1,628 (461) 名

(注) 使用人数は契約期間に定めのない使用者であり、パートおよび派遣社員等、契約期間に定めのある使用者は( )内に外数で記載しています。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地  
TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080

### 事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市長区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
札幌営業 (アフターパーツセールス課)	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 TEL 011 (232) 0654
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0276 (59) 1815
東京営業所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-59-1 TEL 03 (5302) 1715
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 06 (6384) 6551
飯田橋営業 (カスタマーパーツセールス課)	〒112-0005 東京都文京区水道1-12-15 TEL 03 (5805) 1790

## 取締役および監査役 (2014年6月27日現在)

代表取締役社長	オードバディ アリ
取締役兼専務執行役員	井上 誠一郎
取締役	佐藤 直行
取締役兼常務執行役員	志田 哲也
取締役兼常務執行役員	宮下 和之
取締役	安藤 信雄
社外取締役	アントワヌ ドトゥリオ
社外取締役	齋藤 隆次
常勤監査役	橋本 寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金配当支払株主確定日 毎年3月31日  
中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日  
基準日 毎年3月31日  
(そのほか必要があるときは、あらかじめご公告いたします。)  
公告掲載方法 当社ホームページ <http://www.ichikoh.com/>  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉東二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店  
および全国各支店で行っております。  
単元株式数 1,000株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。  
<http://www.ichikoh.com/>

